

# 第八回全國幼稚園關係者大會協議題報告

○國民學校令實施ノ際國民學校トノ連絡上保育ニ關シ  
留意スベキ事項

## 協議題第一項委員一同

### 一、幼稚園保育の革新と國民學校案研究の必要

國民學校案は從來の初等教育全般に互つて之を擴充整理し、皇國民として必要な基礎的鍊成をなさんとするもので、我が國教育の内容を根本的に刷新せんことをする意圖が視はれる。即ち教材を整理統合して教育の徹底を計り、國民精神を涵養、智徳の啓培をなし、體育に努めて、心身一體智徳一致の教育を目指し、内に國力の充實、外に八紘一宇の精神を顯現する大國民を育成し以て皇國の道を發揚せんことを期してゐる。誠に我が國教育の一大轉回であつて、之に依りて教育の根本は確立されたのである。而して幼稚園保育も亦之に呼應してその革新を要望せらるゝに至り既に教育審議會に於ては「國民學校、師範學校及び幼稚園に關す

る件答申」中に「幼稚園に關する要項」を設けて之を説き本大會に於ても右要項の具體的研究をなして其筋に提出せられんことを期す。然しこの幼稚園の刷新は制度竝に内容の全般に及ぶものでなくては意味がなくなるから暫く今後の研究を文部當局の指示に俟たなければならぬ。只保育者としては徒に手を拱いて之を待つゝの態度に出づることなく、國民學校案の精神は單に初等教育のみのものでなく教育の全野に互つて一貫し相通する精神なることを深く認識し、案の一切について十分なる研究を進め、その精神に則つて從來の保育を反省し検討し以て教育の根本方針に歸一するやう留意せねばならぬ。

### 二、國民學校令の本旨と保育上留意すべき點

國民學校ハ皇國ノ道ニ則リテ普通教育ヲ施シ國民ノ基礎的鍊成ヲナスヲ以テ本旨トス

イ、皇國の道に則りて

國民學校に於ける最高原則であると共に幼稚園保育も亦この規範に則るべきは論を俟たない。故に保姆たるものは教育に關する勅語に昭示された「斯ノ道」の御趣旨を拜して國史に徴し、自己の體驗に於て萬古不易永遠に發展して一にして一切なる皇國の道を自覺して率先垂範幼兒の育成に力めねばならぬ。

ロ、普通教育を施し

これは國民學校の内容であつて「皇國民に必須なる普通教育」の意がふくまれてゐる。幼稚園はその内容に於て自ら異なるのであるけれども、單に抽象的な人間保育をなすのでなくて、具體的な皇國民としての保育を施すさいふことに留意せねばならぬ。

ハ、國民の基礎的鍊成をなす

國民學校の目的はこゝにある。國民は大日本帝國臣民であり、基礎的は次への準備の意味でなくてその教育自體が獨自の價値を持ち一に先づ完成することである。即ち基礎的陶冶は準備教育でなくて動的完成教育である。動的なるが故に次の教育の準備にもなり生

々發展すべき性質を有するものである。鍊成は子供のもつ全能力を鍊磨し國民的に育成することである。かく考ふる時は幼稚園保育に於てもその精神に變りはないのであつて、只一步掘り下げて國民の基礎的鍊成は幼稚園を出發點と考へたいのである。但し鍊成なる語をよく玩味して履き違へないやう吳々も注意したい。

### 三、國民學校施行規則の十項目と保育上留意すべき點

- 一、教育ノ全般ニ互リテ皇國ノ道ヲ修練セシメ特ニ國體ニ對スル信念ヲ深カラシムベシ
- 二、國民生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ體得セシメ情操ヲ醇化シ健全ナル身體ノ育成ニカムベシ
- 三、我が國文化ノ特質ヲ明ナラシムルト共ニ東亞及ビ世界ノ大勢ニツキテ皇國ノ地位ト使命トノ自覺ニ導クベシ

以上三項は國民學校の目的及び内容の鮮明であつて、直ちに幼稚園に適用することは出来ないが、保育者自らその認識を深くし信念を以て不言の裏に幼兒を感化するやう留

意しなければならぬ。皇國の道の修練、國體に對する信念、情操の醇化、健全なる身體の育成等保育者の信念に研究によつて保育の具體的方案が自ら生れ出づべきである。此信する。

四、心身ヲ一體トシテ教育シ教授訓練養護ノ  
分離ヲ避クベシ

國民學校に於ては教育の方法を教授訓練養護の三分節とし然も之等の總合を要求してゐる。幼稚園に於ては夙に幼稚園令及び同施行細規則に依つて心身一如の保育をなすやう定められてゐる。蓋し未分化時代の幼兒に對して當然のことである。けれどもその實際について考ふるべき此の頃は保育者にも大いに反省を促して居るかのやうに見える。即ち

イ、知識の偏重に陥つてはゐらないか  
ロ、躰は幼兒の全生活を通じて行はれてゐるか  
ハ、日常の保育は幼兒に負擔を重くし疲勞を過度ならしめてはゐらないか  
ニを例するに、特殊なる學校に入學せしむる爲精神検査に浮身をやつすもの。

繊細なる遊技を教へて巧緻なるを誇らんとするもの。家庭に持たらしむるお土産品の製作に全力を注ぐもの。必要以上の準備をなして幼兒に之を與へんとするもの。皆皆然

りである。故に今後は素朴單純なる保育に立歸つて心身の健全な發達といふことに主力を注がねばならぬ。

五、各教科目ハ其特色ヲ發揮セシムルト共  
ニ相互ノ關聯ヲ緊密ナラシメ之ヲ國民鍊  
成ノ一途ニ歸セシムベシ

本項の各教科目といふことを各保育項目と考へて見るとき、幼稚園では從來全體的に、綜合的に、即ち生活的に保育するといふことが強調され、研究せられ、實施もされて來てゐる。今回國民學校案でこれが問題となり終に低學年に於て綜合教授が認められるやうになつたのは誠に心強い限りであるが尙進んで各項目を縦に統合するやう工夫してその完璧を期せねばならぬ。

六、儀式學校行事等ヲ重ンジ之ヲ教科ト併  
セ一體トシテ教育ノ實ヲ舉グルコト  
七、家庭及び社會トノ聯絡ヲ緊密ニシ兒童  
ノ教育ヲ全カラシムルコト

此の二項は教育の行はれる色々の場の統合を期してゐる學校にては教科による教育、教科外の教育、家庭教育、社會教育と色々の場があるのが稍々もすれば分離し易いから特に此の項を設けられたものであらふ。けれども幼稚園では以前から之に關しては注意が拂はれ、儀式行事を保育體

系中に組入れたる、儀式行事を生活の中心として保育する場合も少くない。又家庭及び社會との聯絡も相當留意されてゐるやうに思ふ。が、此際一層の研究をなして

イ、儀式行事等を生活させることによつて我が國固有の考へ方感じ方行ひ方を知らず識らずの間に體得させ。

ロ、家庭との連絡についても、家庭訪問や母姉會等より進んで、文書の往復による連絡、尙進んでは家庭教育の指導の爲の施設をなす。

やうに研究したいものである。

#### 八、教育ヲ國民生活ニ則シテ具體的實際的

ナラシムルコト

保育も亦同様である。但し幼稚園に於ては高次の國民生活に目標を置いてはならぬ幼児をして郷土生活に即せしめ、郷土生活を通じて國民生活を體驗せしめたい。

#### 九、兒童心身ノ發達ニ留意シ男女ノ特性個

性環境等ヲ顧慮シテ適切ナル教育ヲナス

コト

#### 十、教育ニ際シテハ兒童ノ興味ヲ喚起シ自

修ノ習慣ヲ養フニカムルコト

兩項共に社會學教育學の教ふる所をのべて注意を促して

る。幼稚園にても心しなければならぬことであつて、特に「兒の興味を喚起し」のところが大に味は、ねばならぬ。又「自修の習慣」については幼児にも自分で發見し自分で考へ自分で解決して行くといふ芽生はもつてゐるのであるから、親切過ぎる保育手の届き過ぎる保育の爲にこの精神の芽生までも摘みさらぬやう注意しなければならぬ。

#### 四、國民學校教科及科目と保育上

留意すべき點

國民學校案の教科及び科目は幼稚の保育項目は同一視することは出来ないが、今回の改革の精神は大に參考すべきである。次にその教則案中につて以て他山の石とすべきものを擧げて見る。

○皇國ニ生レタル喜ヲ感ゼシメ敬神奉公ノ眞義ヲ體得セシムベシ

○禮法ノ實踐ヲ指導シ禮ノ精神ヲ會得セシムルト共ニ公衆道德ニツキテ適切ナル指導ヲナシ品位ノ向上ニ努ムベシ

○朕ヲ重ンジ家庭ト聯絡シテ善良ナル習慣ヲ養フニカムベシ

○話シ方ニ於テハ兒童ノ自由ナル發表ヨリ始メ次第ニ醇正ナラシメ併セテ聽キ方ノ練習ヲナスベシ

○自然ニ親シミ自然ヨリ直接學ブノ態度ヲ養フベシ

○植物ノ栽培動物ノ飼育ヲナサシメ生物愛育ノ念ヲ培フ  
ト共ニ繼續的ノ觀察實驗ニヨリテ持久的ニ研究スル態  
度ヲ養フベシ

○躑姿勢其ノ他訓練ノ效果ヲ日常ニ具現セシムルニカム  
ベシ

○衛生養護ニ留意シ身體検査ノ結果ヲ參酌シテ適切ナル

(二七頁より續く)

改良半紙のほごを細く切つた物に糊をつけてぎめて行く。人間の鼻鳥、の嘴、狼の口等の出張る所はやはり端書  
の古を用ひてつける。大體形の出來上つた所で白い改良  
半紙を上から一通り張り、乾して繪の具で色をつける。  
小さい人形を作りたい時は新聞紙を半分にするればよい  
が、今の舞臺で用ひる人形としては一枚を用ひたのが一  
番適當であらうと思ふ。此の方法は實に簡單で自分々々  
の思ふ形に作れるので愉快である。

人形の使ひ方について

動作はなるべく自然に……

あまり首を振つたり、せわしく手を上下したりするのは  
見て居てわづらはしく下品である。自分が其の人形にな  
り切つて、自分が其の時にする動作そのまゝをすればよ  
いと思つた。

○脚本について

指導ヲナスベシ

○歌詞及ビ樂曲ハ國民的ニシテ兒童ノ心情ヲ快活純美ナ  
ラシメ徳性ノ涵養ニ資スルモノタルベシ

○發音及ビ聽音ノ練習ヲ重ンジ自然ノ發聲ニヨル正シキ  
發音ヲナサシメ且音ノ高低強弱音色律動初音等ニ對シ  
鋭敏ナル聽覺ノ育成ニカムベシ

幼兒に適する物さいふ事は勿論で其の長さも二十分位で  
終る物が適當ではないかと思ふ其の筋全部を演出せず  
も、其の最もねらふ所を行つて、他は適當にカットして  
もよいと思ふ。たゞ此の場合前後のつながりをよくつけ  
るさいふ事は脚色者の腕による所であらう。

演出に當つて

書いた物で讀むよりも、其れを人形で行ふ場合には幼兒  
にはつきり受け入れられる爲に、スリルミいはいふか、  
幼兒にヒヤ／＼させる様な場面に於ては餘程注意が必要  
だと思ふ。あまりに度が過ぎない様、あつさりとする事  
が大切であると思つた。

尚ほよい音樂を併せて用ひる事はよいと思ふ。  
最後に、色々研究し、改めて行く事は最も必要である  
が、幼兒を對照であるさいふ事を必ず頭の中に於て、あ  
まりに行き届き過ぎて、幼兒に想像の餘地をなくしてし  
まふ事の無い様、注意しなければならぬと思つた。